

# 騒音苦情報告

## 【概要】

平成17年5月25日(水)午前9:13に近隣企業からクボタ現場事務所に「プラント騒音が高い。」と申し入れがあった。  
それを受け、原因調査を開始した。

## 【原因】

管理レベル1、2系統の排気送風機である「活性炭系統排気ファン」(機番:1FE-9001A、B)の排気ガラリ(建物東側7階)からの騒音で有ることが判明。

## 調査結果

平成17年5月25日(水)午後15:30頃に近隣企業の環境担当者の立会いのもと、騒音測定(ハンディ騒音計)を実施し、次の結果を得た。

	測定点	当該ファン運転時	当該ファン停止時
昼間	近隣企業屋上	71 dB	60 dB
	敷地境界線上	69 dB	65 dB

<表.1>

## 【夜間測定結果】

同日、午後9:45頃にJVにて(敷地境界線上)、次の騒音測定(ハンディ騒音計)結果を得た。

夜間	測定点	当該ファン運転時	当該ファン停止時
	敷地境界線上	69 dB	67 dB

<表.2>

<表.2>における67dBは、PCB処理施設全体が、ほとんど稼動していないことからPCB処理施設側の騒音を測定する際の暗騒音と位置付けられる。

## 【応急対策】

既設吐出チャンバー内の仮設の防音衝立を設置し、その減衰効果を確認。

## 【恒久対策】

応急対策の測定結果に基づき、恒久対策を検討し実施します。

